



宮古市

郷土を誇り次代につなぐひとづくり

教育委員会だより

No. 26

〔令和6年〕

6月15日号

発行 宮古市教育委員会
〒027-8501

宮古市宮町一丁目1番30号
☎ 0193-62-2111

教育長室から

きのえたつ

甲辰の勢いで健やかな成長を

教育長 伊藤 晃二



今日の教育を取り巻く社会環境は、日々変化しています。少子高齢化の進行、高度情報化の進展によるスマート社会の到来やグローバル化、さらには新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響など、日常の在り方が大きく変化し、複雑で予測困難な社会となっています。

特に、令和6年元日に発生した能登半島地震による、甚大な被害は改めて防災意識の見直しを考えさせられました。

宮古市教育委員会では、学校給食費の無償化、奨学金制度の見直し、返還免除の要件緩和、中学校部活動の地域移行検討と実証実験、宮古市文化財保存活用地域計画、そして1人1台のタブレット端末を活用した授業改善の工夫などを重点に取り組んでいます。

今年の干支である「辰」は昇り龍と呼ばれるよう、勢いよく、活気あふれることを期待しています。

皆さんのアルバムに 昔なつかしい宮古 が写っていませんか？

1986（昭和61）年頃の鍬ヶ崎の風景を紹介します。「東日本大震災で町の様子も変わったでしょうから、良かったら活用して下さい」と、寄贈されたものです。江戸時代から「南部の宮古港」としてにぎわった鍬ヶ崎のなつかしい町並みです。市史編さん室では、昔の風景や仕事の様子が写っている写真を収集しています。

☎ 問い合わせ 文化課市史編さん室(62-6447)



港町と日立浜町を望む。建物の密集が賑わいを物語る



港町 蔵・板塀・リヤカー



鍬ヶ崎上町 板ばりの建物が多かった



日立浜町の造船所、奥は出崎埠頭

学校教育課

宮古小学校「子どもの読書活動優秀実践校」 文部科学大臣表彰受賞

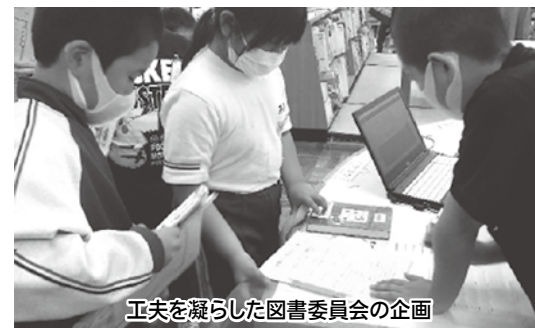
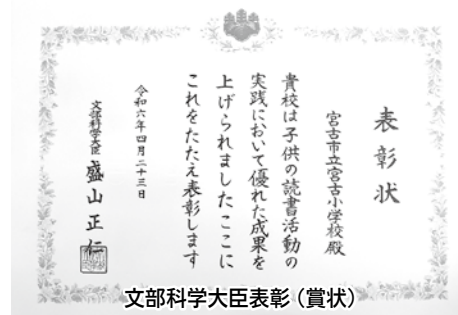


令和6年度子どもの読書活動優秀実践校に宮古小学校が選ばれました。4月23日(火)に東京の国立オリンピック記念青少年総合センターにて行われた表彰式では、福徳潤校長に、文部科学大臣表彰が授与されました。

宮古小学校における読書推進の主な取組

- ・児童一人ひとりの多読目標の設定
- ・読書の幅を広げる「いわ100きっず」(岩手県教育委員会)の活用
- ・児童会(図書委員会)による「図書祭り」の開催
- ・図書ボランティアの「読み聞かせ」「お話し会」による読書への意欲喚起
- ・学校図書館支援員による「図書紹介コーナー」等、読書環境の整備

宮古小学校では、学校・家庭・地域が一体となった読書活動の推進によって、児童一人ひとりの読書意欲が高まっています。



川井小学校 川井中学校 併設校で新たなスタート!



小中合同運動会

●校内研究の推進

→小中統一の研究テーマ

主体的に学ぶ児童・生徒の育成

～資質・能力を育てる学習過程の工夫を通して～

- 小中合同運動会の開催(5月25日(木))
- 小中合同学習発表会・文化祭の開催(10月19日(土))
- 小中合同による取組
→メディアコントロール、ノージュースウィークを通した健康な体づくり など

令和6年度から、川井地区に1校ずつある川井小学校と川井中学校が併設校となり、新たなスタートを切りました。

小学校32名、中学校13名、合計45名の児童生徒が元気に登校し、学習や行事に一生懸命取り組んでいる毎日です。

また、川井小・中学校では、左記のような小中連携の取組を行っていく予定です。

これからも児童生徒が安心して授業や学校生活を送ることができるようしていくために、学校職員、保護者、地域の方々と連携・協力を図りながら、川井小・中学校だからこそできる教育を推進していきます。

生涯学習課

宮古市スポーツ・健康づくり事業開催!



日本体育大学の横山順一教授を講師に迎え、健康寿命に関する講演会が5月18日(土)にイーストピアみやこで行われました。

同講演会は、平成28年度に締結した「日本体育大学と宮古市との体育・スポーツ振興に関する協定」によるもので、今回が5回目の開催となりました。

今回の演題は「みんな生き生き!健康寿命の延伸~働き世代からの健康づくり~」として、生活習慣病予防や中高年からの健康寿命の延伸のポイントについて紹介していただきました。

市内企業からの参加者も多数集まり、講演に真剣に耳を傾けていました。



ネーミングライツ事業について



東北ヒロセ陸上競技場



東北ヒロセ野球場

ネーミングライツ事業により、東北ヒロセ電機株式会社とスポンサー契約を結び、運動公園野球場と陸上競技場の愛称が、「東北ヒロセ陸上競技場」と「東北ヒロセ野球場」に決定しました。契約期間はともに令和9年3月までです。

ネーミングライツ事業は、市が所有する施設に愛称を付与できる権利を民間企業が取得することにより、市の新たな財源を確保し、施設の維持管理におけるサービスの向上を目的としています。

ぜひ、東北ヒロセ陸上競技場、野球場をご利用ください。



山口小学校2年生の給食時間の様子

給食センターでは、地産地消を推進し、子どもたちが地元の食材への理解を深め、より身近に感じることができるよう「宮古っこ給食～まるごと宮古食材の日～」を実施しています。

各給食センターが地域の特色を生かしながら、宮古産の食材を7割以上使用した給食を、今年度は20回の提供を予定しています。

最近では、異常気象や天候不良の影響により、魚の水揚げ量の減少や野菜の値上げ傾向にあります。生産者の方々、加工業者、納入業者の方々の協力をいただきながら、地域の食材を生かした献立づくりに努めています。

今年度第1回の宮古っこ給食(新里給食センター)は、宮古の海の食材さごしのさっぱりソース揚げにめかぶ和え。「さごし」はさわらの幼魚、「めかぶ」はわかめの根元のひだになっている部分です。さらに川井特産の大麦・もちきび等をお米と一緒に炊いた雑穀ご飯、友情キムチが入った汁を提供しました。

10年目を迎えた「宮古っこ給食」

海の幸、山の幸、郷土食を取り入れながら、子どもたちの笑顔弾ける「給食の時間」を目指します。

☎ 問い合わせ 新里給食センター(79-1020)

笑顔の花が満開に！ 『みやこ復興寄席』



柳亭市馬 師匠

令和6年3月24日(日)、「みやこ復興寄席」を市民文化会館大ホールで開催し、たくさんの方に会場へ足を運んでいただきました。

今回は、落語協会会長の柳亭市馬さんら6組が出演し、落語、コント、浪曲で会場を魅了しました。終始笑いと拍手に包まれた会場にたくさんの笑顔が咲きました。

「笑いすぎた」「寄席は敷居が高いと思っていたが、気楽に楽しめた」などの感想をいただきました。気軽さこそが落語の魅力でもあります。

みなさま！次回公演には、ぜひお運びください。

玉川太福師匠 宮古初！浪曲を披露



ボランティアが活躍！ ミニチュア竪穴住居を制作しました



縄文の森公園の復元竪穴住居

竪穴住居は縄文時代から中世までの間、当時の人々が生活していた建物をいいます。地面を掘り込んだ「半地下」になっているため、温度が変わりにくく快適であったと考えられています。

崎山貝塚縄文の森公園では、復元した竪穴住居を屋外展示しています。令和5年度に「雨天時でも復元竪穴住居が見学できるように」と、崎山貝塚縄文の森ミュージアムのボランティアと約1/10スケールのミニチュア竪穴住居を制作しました。

また、夏休みの自由研究に合わせて、約1/20スケールの竪穴住居を作る体験を予定しています。

●夏休み工作講座

7月28日(日) 午前・午後で各12名程度

会場：崎山貝塚縄文の森ミュージアム 体験学習室